



飛鶴の森林から

第50号

当ふれあいセンターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り組む NPO 等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。

クマゲラとの遭遇

4月12日(火) 当ふれあいセンター職員全員で雷別自然再生事業地の踏査に行ってきました。

車を降りるとすぐ、山側から「コン・コン・コン」とキツツキ特有の木をたたく音が聞こえました。オオアカゲラかなあと思いつつ、音のする木の方向を見るとクマゲラでした。お食事中なのか？巣作り中なのか？一生懸命に木をつついていました。あまり見ることができない鳥なので、気がつかれないように少しずつ近づきカメラに納めました。

我々に気づかないクマゲラ



我々に気づいて飛び去ったあとの穴



クマゲラ メモ (漢字名: 熊啄木鳥)

特徴

日本産キツツキ類中、最大の種で全身が黒い

雄成鳥: 雄は額から後頭にかけて赤い
採餌痕は、縦に長い楕円形となる得的なもの

雌成鳥: 雌は後頭のみ赤い
枯れ木に穴を開け、中にあるカミキリムシの幼虫などを補食する

生態

大木のある広い森林、全道的に生息

行動: 「舟堀型」と呼ばれる楕円形の穴を幹に穿ち、主に樹木の中に巣を作るアリ類を捕食、樹皮を剥ぎ、その下にいる昆虫を探すこともある。また、マユミやウルシなどの種子も採食する。

巣穴: 真っ直ぐで下枝がなく、前方の空間が開けた大木の幹に巣穴を掘る。同じ条件であれば針葉樹、広葉樹、枯れ木を問わず営巣木にする。同様のねぐら木を複数本持つ。

保護指定状況

- ・国 RDB 絶滅危惧種
- ・天然記念物
- ・北海道 RDB 絶滅危急種

~北海道野鳥図鑑より~



平成23年度 「雷別ドングリ倶楽部」活動予定



「雷別ドングリ倶楽部」は、雷別地区での自然再生（森林再生）活動に継続的に関わっていただくボランティアの皆さんの集まりです。今年度の活動予定が決まりましたのでお知らせします。

また、「雷別ドングリ倶楽部」では独自の活動のほか、一般公募により参加していただく方々と一緒に次の活動にも参加していただいています。

『雷別ドングリ倶楽部』会員のみでの活動

- 第1回 5月25日（水）
実施内容：炭出し（PF）・播種作業（PF）
遊歩道看板設置（PF）
- 第2回 7月13日【水】
実施内容：苗木の移植作業（センター）
植物観察（雷別）
- 第3回 9月14日（水）
実施内容：地拵及び植付（雷別）
- 第4回 11月30日（水）
実施内容：炭焼及び花炭（PF）
保育間伐及び枝打ち（雷別）
- 第5回 2月22日（水）
実施内容：冬芽の観察（センター周辺）
次年度計画打合せ（センター）

実施内容の（ ）書きは実施場所で、PFはパイロットフォレスト、雷別は雷別自然再生事業地です。

～ 昨年活動の一部を紹介します～



第1回『雷別ドングリ倶楽部』活動
（広葉樹タネの播種作業）



第3回「森林ボランティア養成講座」
（広葉樹タネの採取）



第5回『雷別ドングリ倶楽部』活動
（冬芽の観察会）

「雷別ドングリ倶楽部」への参加申し込みは随時受け付けております。
参加を希望される方は当センター（朝倉）までご連絡下さい。お待ちしております。

職員紹介

所長（上席自然再生指導官）
・宮本 元宗（みやもと もとむね）
総括

職員（自然再生指導官）
・朝倉 基博（あさくら もとひろ）
市民活動担当
・林 直樹（はやし なおき）
自然再生事業担当
・舟橋 聡（ふなはし さとし）
森林環境教育担当
（4月1日付けで森林技術センターから転入）



2011・国際森林年

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

URL http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

E-mail h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp